

確率の求め方

起こり得ることが同様に確からしいときに、起こり得ることが全部で n 通りあり、そのうちに a 通りのことが起こる確率 p は次のようになる。

$$p = \frac{a}{n}$$

確率の値の範囲

あることがらが起こる確率 p は次の範囲にある。

$$0 \leq p \leq 1$$

1 1 個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

① 2 の目が出る確率

② 3 か 5 の目が出る確率

③ 偶数の目が出る確率

④ 5 以下の目が出る確率

確率の求め方

起こり得ることが同様に確からしいときに、起こり得ることが全部で n 通りあり、そのうちに a 通りのことが起こる確率 p は次のようになる。

$$p = \frac{a}{n}$$

確率の値の範囲

あることがらが起こる確率 p は次の範囲にある。

$$0 \leq p \leq 1$$

1 1 個のさいころを投げるとき、次の確率を求めなさい。

① 2 の目が出る確率

$\frac{1}{6}$ さいころの目の出方は全部で 6 通り。

$\frac{1}{6}$ 2 の目が出るのは 1 通りなので、求める確率は $\frac{1}{6}$ となる。

② 3 か 5 の目が出る確率

$\frac{1}{3}$ さいころの目の出方は全部で 6 通り。

$\frac{1}{3}$ 3 か 5 の目が出るのは 2 通りなので、求める確率は $\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$ となる。

③ 偶数の目が出る確率

$\frac{1}{2}$ さいころの目の出方は全部で 6 通り。

$\frac{1}{2}$ 偶数の目が出るのは 3 通りなので、求める確率は $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$ となる。

④ 5 以下の目が出る確率

$\frac{5}{6}$ さいころの目の出方は全部で 6 通り。

$\frac{5}{6}$ 5 以下の目が出るのは 5 通りなので、求める確率は $\frac{5}{6}$ となる。